

# かわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

## 経理業務のBPO活用

BPOとはBusiness Process Outsourcingの略称で、自社の業務の一部を外部委託する経営手法です。経理部門などのバックオフィス部門の効率化の手段として従来から大企業では活用されていましたが、近年では中小企業でも活用するケースが増えてきています。

経理業務のBPOにより不足する労働力が補われ、本来注力すべき業務に集中してもらうことが可能になります。また、従来の業務プロセスを見直して整理・改革するきっかけになります。属人化していた業務についても標準的なプロセスに変更しなければ第三者に委託することはできません。外部委託を円滑に進めるためにクラウドシステムの導入が進むケースも多いでしょう。

経理業務のBPOの委託範囲を決定する際にはどのようなポイントを考慮すべきでしょうか。経営陣は将来に有益な分析や予測といった情報提供も経理部門に期待しています。これを踏まえると、その前段階のデータ作成業務に要する社内労働時間を減らすという観点が重要になってきます。

その一方で、定型的で難易度が低い業務であっても、委託先に情報を伝達する手間や品質維持を踏まえると会社に残したほうがよい業務も存在します。単に業務を委託するだけでなく、互いに協力する体制も不可欠となります。

経理業務のBPOをきっかけに後継者育成の時間が持てるようになり目指す方向性も明確になったといった事例も見受けられます。人と事業の可能性を最大限に引き出すために、BPOの活用を考えてみませんか。

参考文献：中尾篤史『経理業務のBPO活用のススメ』（税務研究会出版局）